

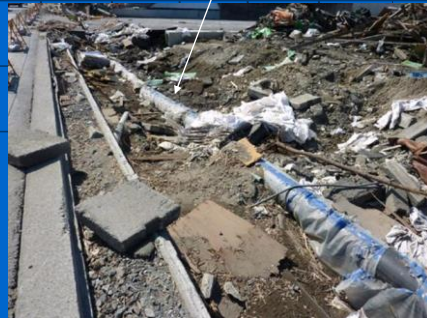
地盤変状部を優先して耐震化

ー路盤崩壊部、河川近傍、軟弱地盤などー

路肩崩壊部



φ300 ダクタイル鉄管 NS形



φ200ダクタイル鉄管 NS形
φ75塩化ビニル管
φ150ダクタイル鉄管 NS形



引用:土木学会東日本大震災被害調査団(地震工学委員会)緊急
地震被害調査報告会(2011/4/11) 講演資料

45

沿岸部水管橋の改修

ー津波想定エリアの伏越化ー



DIP 水管橋(被害なし)



DIP 水管橋(被害なし:線形に変化あり)

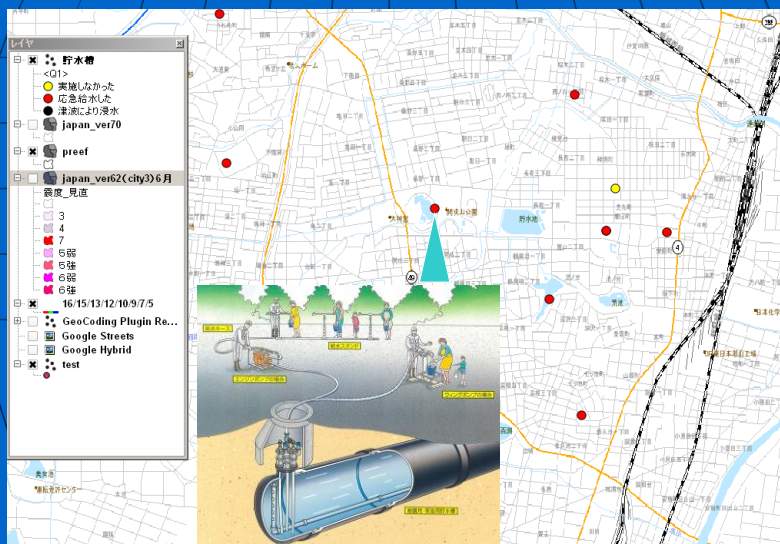


DIP NS形φ350 橋梁添架管(被害なし)



46

耐震貯水槽が有効に活用された (郡山市の例)



47

防災訓練が大切 (鎌倉市の例)

耐震貯水槽を使用した給水訓練



48

キャンバス水槽も有効

—給水車の効率活用—

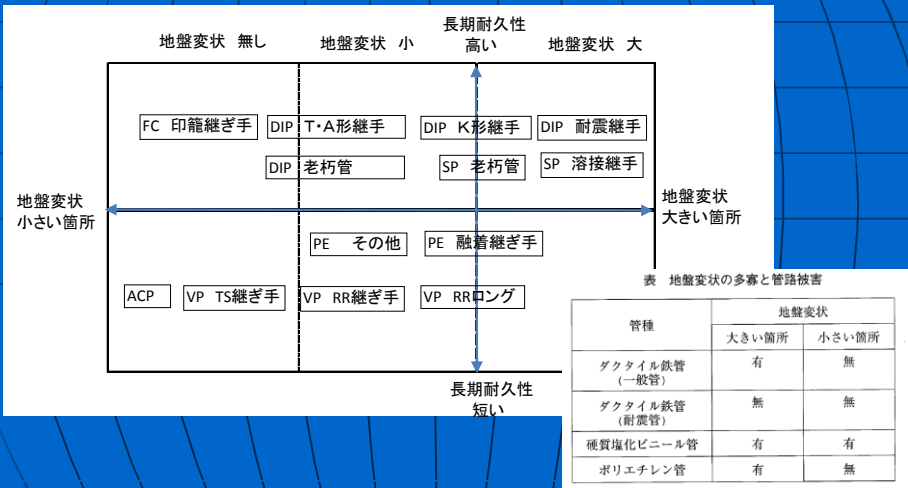


新潟市水道局が支援



長期的視点で耐震化

—管体強度の強さも有効—



引用: 日本水道新聞社第48巻 第二号P28 表

管路の地震対策

- 阪神淡路大震災よりはるかに大きい最大加速度を観測したにも関わらず、管路の被害が少ない。
- 管路被害の傾向は過去の地震と同様。
- 管路の弱点部、地盤変状部（液状化、軟弱地盤、路肩、沿岸部、河川近傍など）に被害が発生。
- 基幹管路の老朽管更新が耐震化の強化につながる。
- 津波被害も減災（舗装の補強、バイパス）が必要。
- 長期耐久性（LCC）も視野に入れて耐震化

51

これからが本格的な復興

- 住民とのリスクコミュニケーション
- 復興計画（水源調査含む）への補助支援
- 重要管路（耐震化すべき管路）の明確化
- 既設管の弱点の調査、診断
- バックアップなど安全率の増加
- ライフサイクルコストを考えた復興



「命の水 未来につなごう市民の水道管路」

52

これからの復興
みんなで頑張りましょう！

ご清聴ありがとうございました。

